

広報紙かしの木



社会福祉法人
せたがや櫨の木会

第 26 号

2020 年 2 月発行

「新たな令和の時代に向けて」

理事長 岩井雄一



令和 2 年 1 月、令和になって初めて新しい年を迎えました。
皆様、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
今年のお正月は穏やかな天候に恵まれ、和やかな年を予兆させるものでした。
いい年であることを心から願うところです。

さて、去年は「せたがや櫨の木会」は、まもりやま工房の開所、ポートきぬたの運営と新たな事業に取り組み、皆様からの期待に応えるとともに事業の拡充、推進を図ってまいりました。今後もさらなる事業展開を図り、世田谷区における障害者施策の充実に寄与したいと考えております。多くの皆様のご支援をお願いする次第です。

また、各事業所とも連絡を密に取りながら、法人全体として利用者やご家族の方々へのサービス向上に努めたいと考えております。今年度前期のサービス向上委員会においても出された災害時等の対策について検討を進めております。これまでの台風や大雨とは違い、50 年に一度といわれるような規模の災害が次々に来るようになってしまった状況に応じてどのように対応していくのか、さらに対応を考えていかなければならないという事態です。台風時の計画運休についても計画通りに電車は止まりましたが、復旧には相当の時間がかかりました。本法人の各事業所においても職員の確保が困難となり、送迎バスの乗務員の確保も困難という状況となりました。今後も新たなウイルスによる感染症などへの対応も求められるようになることなどこれまでとは違う危機に対する対応が必要になってくる可能性を考え、法人のリスクマネジメント検討委員会を中心に検討を進めてまいります。

この度、法人のホームページについてリニューアルいたしました。法人の活動や自主製品の紹介などの情報や緊急時の対応など迅速にお伝えする手段としても検討しているところです。是非、ホームページをご覧ください。ご意見があればお伝えいただきたいと思います。

さて、令和 2 年度を迎えるにあたり、新たな事業への展開を模索することになりますが、これまで法人で職員の支援者としての専門性の向上を図り、研修の充実を図ってまいりましたが、今後はさらに外部研修の活用や資格取得支援にも努めていきたいと考えます。また、活性化を図るための人事交流も積極的に行っていきたいと考えます。職員の異動は一時的には利用者の方々やご家族にとって心配な点もあるかと思えます。しかし、職員の意欲の向上や新たな能力の開発など、また、事業所についてもそれぞれの良い点を広めていくなど法人全体の活性化につながるものと考えます。この点に関しましてもご理解ご協力をお願いいたします。

終わりになりましたが、今後とも開かれた法人を目指して、多くの関係の皆様と力を合わせて地域における障害者についての理解を進め、共生社会の実現を目指していききたいと考えます。今後ともご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。



新成人のご紹介



法人内の各事業所において、新成人をお祝いする会が開かれました。今年度は、千歳台福祉園・下馬福祉工房・わくわく祖師谷・喜多見夢工房の4事業所で6名の方が新成人となりました。おめでとうございます。



千歳台福祉園 石田 晴暉さん（平成11年7月20日生）



入園して間もなく2年。体重がこの2年の間に10kg以上増え、ほっそりとしていた体はとてまたくましくなりました。乗り物のDVDやピアノの音、ブランコが好きで、休み時間や散策の活動時には、それらのことを楽しんでいる様子で見たり聞いたり行ったりしています。好きな利用者の方や職員もできて、手を振ったり、側に行ったりして関わりを楽しむ様子も多く見られるようになりました。

横濱 舜さん（平成11年4月27日）

入園して間もなく2年。入園当初は慣れない場所に戸惑っている様子も見られていましたが、今ではすっかりと慣れて園での生活を楽しんでいる様子です。音楽活動やリフレッシュタイム、調理活動は特に好きな活動で、笑顔多く参加されています。また、字がとても上手で、硬筆競書成績は8級の腕前。創作の活動などで、字を書く機会には、そのキレイな字で周囲を驚かせてくれます。道をよく知っていたり周囲を気にかけてくれたりすることから、人から頼られることが増え、そんな風に頼られることも嬉しい様子です。



わくわく祖師谷 秋元雅亨さん（平成11年5月23日生）



生活介護に通われる秋元雅亨さんが新成人となりました。成人式は「わくわく祖師谷10周年を祝う会」と同時開催となり、成城ホールにて多くの来賓を招き盛大に行われました。秋元さんはとても明るい性格で、その陽気さ、人懐っこさが本当にちょうどよく、誰からも愛されている人気者です。そんな秋元さんのお祝いは、多くの方の笑顔と拍手に包まれた心温まる式となりました。新成人のお祝いとして、「時間の守れる男は素敵だ」と願いを込めて、わくわく祖師谷から「目覚まし時計」をお贈りしました。

下馬福祉工房（佐藤ライカジェリンさん・羽根志織さん）

下馬福祉工房では、佐藤ライカジェリンさんと羽根志織さんのお二人が、成人式を迎えられました。成人祝会では、職員全員が新成人の方に向けて「短歌」を贈るのが伝統となっています。お二人の魅力やこれからの姿を思い描き、担当職員が詠んだ短歌をご披露します。

佐藤ライカジェリンさん



キラキラと
朗らかに舞う
足取りで
未来へ進め
二十歳の決意
(竹村春南)



羽根志織さん

「待ってたよ」
皆に好かれる
人柄は
葛藤や悩みを経て
得たやさしさ
(西山友理)



喜多見夢工房 岡 紀花さん（平成11年5月14日生）



喜多見夢工房の分室に通い始めて丸二年。学校を卒業した頃の頃は、年上の利用者ばかりで緊張の連続でしたが、いまでは「みんなと一緒にいるの好きだよ」と話してくれる岡さん。成人を迎えての一言を聞くと「お仕事がんばる！」いつもポジティブに精一杯お仕事をしているので、出来る作業の幅も広がり「封緘したい」「配達行きたい」「製菓したい」とやる気いっぱい。初挑戦のことには、不安なこともあるけど、周りを上手に頼りながら「どうやるの？」と持ち前のチャレンジ精神でトライ。できると「見に来て！」と嬉しそうに教えてくれます。

一緒に喜んでくれる仲間を支えられながら、大人の階段を一步一步と上がっていています。

寄付金報告



・法人セミナーを開催しました。



日時 令和元年11月8日(金) 18:00~20:00

場所 わくわく祖師谷 多目的室

内容 『権利擁護・虐待防止について』

講師 野澤和弘氏

(一般社団法人スローコミュニケーション代表)

「権利擁護・虐待防止セミナーについて」

権利擁護委員会 委員長 佐藤和貴

虐待防止研修と聞くと、法制度の話や「～してはいけない」「～にあたる」等の研修で研修終了後には気が重くなったりすることが多々ある中、今回の野澤氏の研修は、最後に背中を押してもらえ前向きに支援に当たれるような研修内容であった。

内容としては、障害者の権利擁護からの視点からの虐待防止についての話をご自身の実体験を交えながらの研修であったのでとても身近に感じられることができた。その中でも支援にあたってのアドバイスとして、ポジティブアセスメントであった。支援する上で肯定的な対応をする大切さを感じたと同時に自分自身の体調管理や意識の重要性を見直す事ができた。

また、虐待防止法施行の経緯についても過去の事件を振り返りながらの話であった。私事ではあるが、その事件の幾つかで、利用者の方の受け入れをしたことも思い出し、当時の状況を考えて改めて虐待防止の必要性や利用者の権利擁護の重要性を感じる事ができました。



・第3回 実践報告会を開催しました。

日時 令和元年12月20日(金) 18:00~20:00

場所 まもりやまテラス(体育館)

講師 岡部 正文氏

(一般社団法人ソラティオ代表)

「社会福祉法人せたがや櫨の木会

第3回 法人実践報告会について」

実践報告会 委員長 大野 一徳



せたがや櫨の木会では、法人としての成長、職員としての成長、また将来的に地域へ私たちの実践を発信する場として「実践報告会」を企画し、2017年から毎年開催しています。利用者の方・ご家族の方から了承を頂き、事業所が行っている実践、職員が日々行っている支援を職員がまとめ発表し、職員全体で学ぶことで法人としての支援力の向上につなげています。

今年度はエントリーされた8本の実践の中から『わくわく祖師谷(生活介護)』『上町工房』『ぼーときぬた』が発表事業所として選出されました。会場はこれまで開催してきた「わくわく祖師谷」から、今年度新しく生まれ変わった「まもりやま工房」のある『まもりやまテラス』に移しての開催となりました。また、理事、評議員、第三者委員、サービス向上委員など、法人を支えて下さる関係者の皆様にも来賓としてご参加頂きました。発表事例は講師の方から頂いた講評をまとめ、冊子にして各業所に配布します。

今後ともこのような取り組みを重ねてゆき、法人としての取り組みを地域に還元できるよう、使命感をもって日々支援にあたっていきたいと思いますので、ご協力宜しくお願い致します。

事業所紹介（千歳台福祉園）

法人内の各事業所の取り組みを紹介する事業所紹介。今号は千歳台福祉園のご紹介です。

千歳台福祉園

について

題字：横濱 舜

千歳台福祉園は、重度の知的障害のある方が通う生活介護施設です。49 名の方が通われていて、平均年齢は 32.6 歳となっています。

サブミッション（使命）は「本人の意思を尊重しながら、多様な経験や選択肢を提供することで、地域で安心して、豊かな生活を送れるよう支援します」とし、ゴール（短期目標）は「個々のニーズを反映した個別支援計画を作成し、様々な経験を提供します」「楽しい地域交流の場を作り、たくさんの人とつながっていきます」を掲げ、支援を行っています。

午前、午後の日中活動の時間に、作業活動や余暇活動を行っています。また、様々な経験の場として、一日外出や昼食外出を実施するとともに、宿泊旅行や防災を意識した園内宿泊なども実施しています。加えて、地域の方への障害理解の促進の一環として、地域の方々と協力して毎年 9 月の第 3 土曜日に「秋桜祭」の開催や、成人の方や節目の方をお祝いする「成人式・新年会」などのイベントも実施しています。

本誌では、活動やイベントの様子を写真と一緒にいくつか紹介していきたいと思います。

作業



織物や



刺繍を行い



ボランティアの方々の力をお借りして、色々な作品になります。

散策



バスを利用して



公園へ行ったり



園の周りを歩いたりして運動しています。

音楽



講師の方のピアノに合わせて、歌ったり踊ったりします。

創作



書道を行ったり

各種イベント



新年会・お餅つき

機能訓練



理学療法士指導の下、それぞれに合わせた運動を行っています。



シャボン玉を利用したり



一人ひとりの得意なこと、好きなことで色々なものを作っています。



地域交流



秋桜祭

利用者一人ひとりのニーズを大切にしながら、作品作りと地域とのつながりに力を入れています。
是非、千歳台福祉園に遊びに来てください。

事業所のお祭り情報（下半期）

3月7日（土）わくわく祖師谷
砦地域支えあいフェスタ 2020
10:00～14:30



3月8日（日）下馬福祉工房
おたがいさまフェスタ
10:30～15:00



職員人事のお知らせ

（平成31年4月2日～令和2年1月31日）

○採用者

令和元年9月1日付	喜多見夢工房	湊 清
令和元年10月1日付	本部事務局	原田 順弘
令和元年11月1日付	千歳台福祉園	久保田 亜子
令和2年1月1日付	下馬福祉工房	大城 亮子
令和2年1月1日付	わくわく祖師谷	大谷 崇廣

○退職者

令和元年7月31日付	喜多見夢工房	水元 宏
令和元年8月9日付	千歳台福祉園	塚本 結加
令和元年10月15日付	わくわく祖師谷	大谷 吉儀
令和元年12月31日付	下馬福祉工房	伊集 希世



世田谷区手をつなぐ親の会

知的障害児・者とその家族が、地域で安心して生活できるような社会を作りたいという願いをもって、活動を実施しています。福祉制度やサービスについての研修会や、さまざまな施設の見学会、ホームページの運営による情報発信、区民の皆さん向けに障害理解のための「セータとガーヤの気持ち伝え隊」のキャラバン活動、本人活動「Setagaya アミーゴ」など、いろいろな取り組みを行っております。ぜひホームページをご覧くださいませ。

<https://oyanokai-setagaya.com/>

編集後記

2019年12月ホームページをリニューアルすることができました。法人では毎年、職員の資質向上を目指し、各委員会が企画した様々な研修、セミナー等を定期的実施しております。

今号では11月に開催した権利擁護・虐待防止セミナー、12月に行った実践報告会の報告を載せました。法人内の「今」を伝えていけるよう今後は情報の更新を密にし、法人や各事業所の様々な取り組みを発信していきます。

広報委員会 委員長 島澤広樹

編集発行：社会福祉法人せたがや榎の木会 理事長 岩井雄一

155-0033 東京都世田谷区代田 1-29-5 Tel 03-5481-1010 FAX 03-5787-4051

Mail setagaya-kasinokikai@poppy.ocn.ne.jp HP <http://kashinokikai.net/>